

「サロン・土・カフェ W」開催報告

Meeting Report of “Salon "土" Cafe W”

藤澤 久子 (ふじさわ ひさこ)
日本工営 (株)

高原 利幸 (たかはら としゆき)
金沢大学 環境デザイン学系

1. はじめに

「第51回地盤工学研究発表会」初日に岡山大学津島キャンパス学生会館1階談話室にて、男女共同参画及びダイバーシティに関する委員会は、第6回目となる「サロン・土・カフェ W」を開催しました。これは元来、会員全体のわずか3%を占める女性会員の横のつながりを深める事を目的としておりましたが、近年では、性別を問わず、ダイバーシティに関心のある様々な世代間の交流の場となっております。

2. 開催状況

今回のサロン・土・カフェ Wの参加人数は34名、内訳は男性14名、女性20名でした。ゼネコンやコンサルタント会社、大学等研究機関の先生や学生など、多くの方に参加を頂きました。

サロン・土・カフェ Wは、ワールドカフェ方式を採用しています。まず5~6名が1つのテーブルに集い、あるテーマに関して15分ほど議論した後、席替えをし、また新たなテーマに関して話をするという形式で、3テーマについてディスカッションをして頂きました。

テーマは、「1. 就職時の企業等の見方のアドバイス」、「2. 多様な人材の育成方法」、「3. 学会、ダイバーシティ委員会に求めること」としました。各テーブルにはダイバーシティ委員会の委員が、席替えをしない書記として配置され、最後に総括が行われました。

テーマ1では、これから就職活動を行う学生に向けたメッセージについて話し合っていました。リクルーターは良いことしか言わないから、OB、OG訪問をして、生の声を聞くことが大事だという意見や、インターシップ制度を利用して、自分のこと、将来のことを考えるきっかけにしようというアドバイスがありました。

テーマ2では、外国人や若手、産休育休後のキャリアアップなどについて話し合っていました。色々な経験を積むことがキャリアアップに繋がるという意味で、働き方の選択肢の多い企業に入った方が良い、という意見が印象的でした。

最後に、テーマ3では、学会、委員会への要望として、土木、地盤の分野に入るきっかけとして、情報発信をして欲しい、情報共有する場や参加する場が増えるという意見が出されました。日本ではダイバーシティへの考え方、理解が遅れているという厳しい意見とともに、メンター、メンティー制度については、日本に合った制度を作りたいという要望がありました。活躍している女性技術者、研究者をPRして、次に続くようにして欲しいという意見とともに、失敗事例を挙げていくのも面白いのでは、というご意見も頂き、今後の活動に反映させていけるようにしたいと思います。

3. おわりに

ダイバーシティは自分の中に多様性を持つことから始まります。男性の中には、自分は関係がないと思っている方も少なくないかもしれません。ですが、このような話し合いには、男性の参加がもっと必要だ、との声も、参加した男性の中からも挙がっていました。開催後のアンケートでは、楽しかった、また参加したい、と8割の方が回答しており、笑い声の混じる楽しい集まりとなっています。来年、名古屋大会でも、たくさんの皆さまにお会いできることを楽しみにしています。

なお、今回のサロン・土・カフェ Wの開催に際しては、岡山大学の珠玖先生をはじめ、大会実行委員会の皆様にも多大なご尽力を頂きました。この場をお借りして御礼申し上げます。また、当日、美味しいお菓子を差し入れて下さった皆様、どうもありがとうございました。

(原稿受理 2016.10.7)



写真-1 会場の様子



写真-2 集合写真